

© ACG プレスリリース - 展覧会開催のご案内 -

福本潮子展 藍の青 2021

Shihoko Fukumoto: Japan Blue 2021



アートコートギャラリーでは福本潮子の6年振りの新作個展を開催します。

「古布の魅力の次世代への伝承」をテーマに、作家が意欲的に取り組む古布のシリーズの新たな展開を見せる展覧会となります。

福本潮子は現代藍染の世界の第一人者として、実績を重ね、揺るぎない評価を確立してきました。40年におよぶ染色作品制作の過程で、作家は私たちの文化がこれまでに伝承し、作り続けてきた非常に上質な布と出会いました。それらはかつて農漁村の仕事着として使われ、あるいは江戸期の武家の衣装として使われた布です。それぞれの役目を持って使用された貴重・希少な「古布」を作品素材とする制作を福本は20年以上継続しています。古布は福本の類稀な感性、そして素材への深い理解・敬意と出会うことで、輝きのある美術品となって蘇ります。古布の真価が若い世代の感性にも響き、受容されるものとなることが期待されます。作品の制作発表を通じて、古布の伝承を現代に活きる形に発展させる作家の情熱に触れていただければ幸いです。

作家が使用する古布について、当時と同じクオリティの布を作るには、材料調達の困難さに加え、高度な技術、忍耐強い長時間労働が投入であることが多く、その生産のほとんどが現代では途絶えてしまい、それらは古布としてのみ入手可能なものとなっています。

◇ 本展作品に使用の古布：

苧麻、大麻、越後上布、藤布、科布、オクソザックリ ほか

[画像左より] 《緑の向こう-1》168x133cm、2020年、麻|しみ染、つけ染 《天と地》2020年

【展覧会概要】

展覧会名：福本潮子展 藍の青 2021 *Shihoko Fukumoto: Japan Blue 2021*

会 期：2021年 9月25日 [土] - 10月30日 [土] *休廊：日・月

会 場：アートコートギャラリー 〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

開廊時間：11:00-18:00 [土曜日-17:00] *新型コロナウイルスの感染拡大状況などにより、会期や開廊時間に変更される場合があります。

主催：アートコートギャラリー(株式会社八木アートマネジメント) | 協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当：八木・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

福本潮子展 藍の青 2021

Shihoko Fukumoto: Japan Blue 2021

◆ 福本潮子 Shihoko Fukumoto

- 1945 静岡県清水市に生まれ、大阪で育つ
1963 大阪市立工芸高校洋画科卒業
1968 京都市立美術大学西洋画科卒業

近年の主な個展

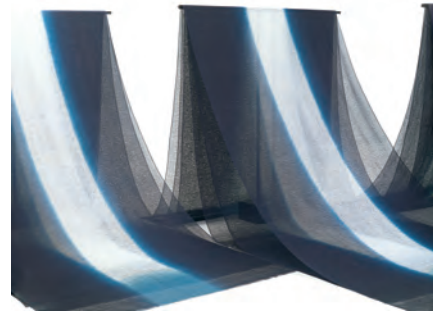
- 2020 歴史を紡ぐ・今を染める: 福本潮子一藍と白(尼崎市総合文化センター、兵庫)
2018 福本潮子展一布を藍で染める-(中信美術館、京都)
2017 福本潮子展「森と天空」(桜ショップ銀座店/高松店、東京/香川)
2016 福本潮子一きもの帯展(銀座もとじ、東京)
2015 福本潮子「藍の青」(日本橋高島屋 美術画廊X、東京/高島屋美術画廊、京都)
福本潮子作品集出版記念展一藍の青-(アートコートギャラリー、大阪)
2013 福本潮子展 一手から生まれる自然-(MEM、東京)
明倫茶会「霞の茶室」で「鬪茶」(京都芸術センター)
福本潮子展「布と藍、今を染める」(銀座もとじ、東京)【'11】
2012 福本潮子展 自然布一素材からコンセプトへ(アートコートギャラリー、大阪)【'04】
福本潮子展 一有職紋-(千疋屋ギャラリー、東京)
2010 Shihoko Fukumoto: Indigo is the Color of My Dream
(ポートランド日本庭園、ポートランド)
福本潮子展 藍色の茶席一和と洋のしつらい(染・清流館、京都)
2009 福本潮子展 日本の土着布にひそむ時空(高島屋美術画廊X、東京)
2006 福本潮子藍染色展一滅びゆく布を染める-(ギャラリー石塀小路 和田、京都)

近年の主なグループ展

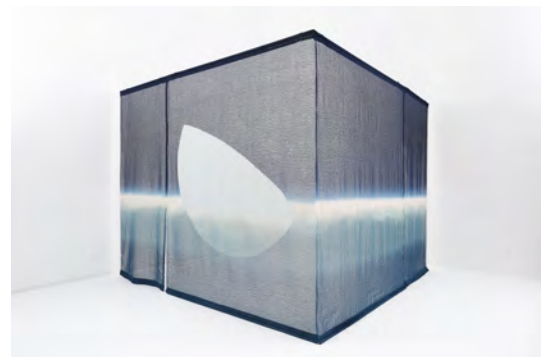
- 2021 ゆかたと藍の世界(高松市美術館)
2020 国立工芸館 石川移転開館記念展 I 工の芸術一素材・わざ・風土(国立工芸館、石川)【'21】
コレクション展 スケールズ [前期](金沢21世紀美術館、石川)【'21】
京都の美術 250年の夢(京都市京セラ美術館 本館、京都)
2020 モノオペラ「ガラシャ」(帳《ガラシャ》)(上賀茂神社、京都)
藍のファッション展(芦屋市立美術博物館、兵庫)
Japanese Wonder(Erskine, Hall & Coe、ロンドン)
2019 みた?一こどもからの挑戦状(東京国立近代美術館 工芸館)
染・清流展を顧める Part 5一第13回展以降(染・清流館、京都)【'16】
京都の染織 1960年代から今日まで(京都国立近代美術館、京都)
Alchemy(Arvind Indigo Museum [Kasturbhai Lalbhai Museum内]、インド)
2018 高島屋美術部創設百年記念 風詠抄一譚(日本橋高島屋美術画廊、東京)
2017 交わるいと「あいだ」をひらく術として(広島市現代美術館)【'18】
2016 革新の工芸「伝統と前衛」、そして現代(東京国立近代美術館 工芸館)
2015 Unraveling Identity: Our Textiles, Our Story(ワシントン大学テキスタイル博物館、ワシントン)
染・清流展(染・清流館、京都)【'13, '11, '09, '07, '05-'92】
2014 「わざの美一日本の工芸」展(シンガポール日本大使館 JCC、シンガポール)
一梅原猛 卒寿記念「梅原猛と25人のアーティスト」展
(高島屋美術画廊、京都/大阪/東京/横浜/名古屋)
杉本文楽曾根崎心中(道行の段 特別出品: 幔幕(霞たなびく))
(世田谷パブリックシアター、東京/フェスティバルホール、大阪)【'13, '11】
Landscape 福本潮子・徳丸鏡子(高島屋美術画廊X、東京)
2013 Contemporary KŌGEI Styles in Japan (モリカミ博物館、マイアミ)
清州国際工芸ビエンナーレ2013, Main Exhibition II
(清州カルチュラル・インダストリー・コンプレックス、清州)
第25回京都美術文化賞受賞記念展(京都文化博物館)
2012 第18回MOA岡田茂吉賞一明日の日本画・工芸を展望する-(MOA美術館、静岡)
GIAPPONE TERRA DI INCANTI (ピッティ宮殿、フィレンツェ)
開館50周年記念特別展 交差する表現 工芸/デザイン/総合芸術
(京都国立近代美術館/東京国立近代美術館)
糸の先へいのちを紡ぐ手、布に染まる世界(福岡県立美術館)
2011 「現代の染め」福本繁樹 蠶染め/福本潮子 藍染め(丹波市立植野記念美術館)
2010 近現代染色の展開と現在(茨城県つくば美術館)
茶事をめぐって 現代工芸への視点(東京国立近代美術館工芸館)

作品所蔵

- 東京国立近代美術館(東京)
京都国立近代美術館(京都)
金沢21世紀美術館(金沢)
国立国際美術館(大阪)
ボストン美術館
ヴィクトリア&アルバート美術館(ロンドン)
ミュージアム・オブ・アート&デザイン(旧アメリカンクラフトミュージアム)、ニューヨーク
ロスカミュージアム(イエテポリ)
ポートランド美術館(ポートランド)
ロッテルダムワールドミュージアム(ロッテルダム)
ウィットワース・アート・ギャラリー(マンチェスター)
クリーブランド美術館(オハイオ)
公益財団法人小田原文化芸術財団(小田原)
京都府
高島屋史料館(大阪)
染・清流館(京都)
財団法人大阪府文化振興財団(大阪)
サクラアートミュージアム(大阪)
じゅらく染織資料館(京都)
中信美術館(京都)



《青い儀式》亜麻|ぼかし染、しみ染、よろけ加工
175 x 500 x 410 cm(各 170 x 700 cm、3点)、1996年 *参考作品



《茶室-天空》亜麻|藍|しみ染、脱色染、大帽子絞、ぼかし染、よろけ加工
233 x 288 x 288 cm、2001年 ボストン美術館蔵 *参考作品